

西条実科高等学校  
(2ページに関連記事)



同窓生の皆さん、お元気ですか。賀茂高校では、今年、韓国のミチュホル外国語高等学校と姉妹校になり、さらにユネスコ憲章の理念を実践するユネスコスクールに認定されました。賀茂高校に新しい看板が加わりました。心からお祝いを申し上げますとともに、是非とも、単なる親善・交流から一歩踏み込み、本音の言える関係を築き、生徒がこれからの国際化の時代を生きて行くための実となる国際交流教育を実現して頂きたいと、大いに期待するものです。同窓会としても、出来るだけの支援をしていきたいと思えます。



同窓会会長 黒川 浩明  
(昭和36年卒)

### ミチュホル外国語高等学校との 姉妹校提携おめでとうございます

また、同窓会では、一昨年度から二カ年にわたり取り組んできました会員名簿の更新事業を終了し、平成二十五年一月に新名簿を発行することが出来ました。この事業の推進には、同窓生の皆さんに多大なご協力をいただきました。心から感謝を申し上げます。同窓会名簿は、同窓生の皆さんの歴史が刻まれた、貴重な宝物だと思っています。取り扱いは慎重を期しつつ、大事に次の世代に引き継いで参ります。

今後とも、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



### 賀茂高等学校 同窓会 会誌 vol.5

平成25年12月25日発行

賀茂高等学校  
同窓会事務局

東広島市西条西本町16-22  
TEL(082)423-2559

URL  
<http://www.kamo-h.hiroshima-c.ed.jp/>



校長 河原 富夫

### 国際化に 対応した取り組み

同窓生の皆様にはご健勝で活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素から母校の教育の充実・発展のためにご理解・ご支援を賜り、改めて厚く感謝を申し上げます。

出していきます。この夏休み期間中には、同窓会からもご支援をいただいで、サッカー部生徒二十四名が交流試合やホームステイ等を通じて異文化理解や共生について考える機会を得ました。

また、大韓民国のみならず世界中のユネスコスクールと交流できるようと、パリのユネスコ本部に加盟申請し、四月二十三日付で加盟が認められました。

これから一層グローバル化する社会に生きていく生徒の将来のために、世界への窓を二つ整えました。平成二十五年は賀茂高校の国際化元年と言えます。

母校の現状の一面を紹介させて頂いたいただきましたが、引き続き、皆様からのご理解やご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

**第61回(平成26年度)  
賀茂高校同窓会総会  
懇親会のお知らせ**

**\*日時\***  
平成26年8月3日(日)  
10:30 受付開始  
11:00 開会

**\*場所\***  
グランラッセレ東広島

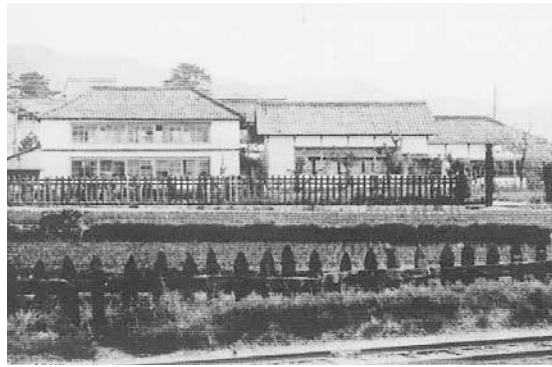
**\*会費\***  
6,000円

**\*当番幹事\***  
S 40年・50年・60年  
H 5年・15年卒

**\*お問い合わせ\***  
賀茂高校 同窓会事務局

# わが人生 「賀茂高校の思い出」

## 母校創設期の写真



昭和29年卒 鳴尾 善彦



去る三月、市民ギヤラリーで「西条四日市町並写真展」が開かれました。

東広島郷土史研究会が主催したものです。どれも貴重でなつかしい作品の中に、ひととき私の眼を引き感動させられたのが二枚の写真でした。産声を上げて間もないわが母校、西条実科高等女学校の姿です。一枚は母校創設者で初代校長の西島嘉六先生が校舎と共に写っている写真（二ページトップの写真）。もう一枚は西条駅プラットホームに迫るよう校舎を撮った写真です。この原稿の持主は竹内紀夫さん（昭和36年卒）とのことで古いアルバムを借りりましたが、全く同じ写真は見当りませんでした。しかし西島先生の姿がある類似の写真を使わせていただきました。あと一枚は「西条四日市町並写真集」（東広島郷土史研究会編）にあるプラットホームからの写真を利用していただきました。竹内さんは西島先生とは親戚筋にあられるとのこと、色々お話を伺いお世話になりましたこと感謝申し上げます。

## 憧れの賀茂高女に入学

昭和17年卒 影山 量江 (旧姓 松山)



昭和十三年四月西条小学校から十五名の友達とセーラー服に璧のスカートに黒の長靴下、肩横掛けの大きな鞆姿で胸踊らせて喜々として入学した日の事懐かしく思い出します。

通学は徒歩で遅刻しそうな時は町の裏手の田圃の小道を走って登校したものでした。当時は自転車通学生も多く現在のよう



に雨具が十分で無かったたので雨や雪の日は大変でした。中国との間で日支事変が勃発したといえ「神国日本は必ず勝つ」と唯信じて呑気なものでしたが徐々に戦争ムードは進み二年生には敵国語という事で英語の授業は廃止されました。三年生の十二月八日未明真珠湾攻撃から暗い太平洋戦争に突入したので

学校での生活も一変し制服もスカートから「もんぺ」に変わり映画の鑑賞、流行歌を唱う事も学校から止められ出版物も制限され好きな読書もままならない時代になりました。正規授業は減り陸軍の兵隊さんの肩章の星印を縫いつけたり療養所の傷痍軍人の方の寝巻を縫ったり、又出征兵士の留守宅の田植等農作業の手伝いに、下手ながら一生懸命やりました。当時の世相は「かもあおい」前号迄の同窓生が寄稿された通りです。とはいえ楽しい思い出もありました。純真な女学生時代は国策に従って不平不満も言わず皆よく頑張りました。今思えばあの太平洋戦争は遙か遠い物語となり

八十八才の寿命を戴いて本当に有り難い、勿体ないの一言に尽き唯々感謝の気持ちでいっぱいです。思い返すに賀茂女時代にもっとその時その時を大切に自ずから学ぶ態度を身に付けておけば良かったと遅まきながら反省するこの頃です。街で賀茂高校の制服姿を見る度に母校の発展を嬉しく思っています。

## プロフィール

影山さんは卒業後三原の師範学校を卒業され、御園宇小学校に赴任し、五十五歳迄教職一筋に精励されました。昨年米寿を迎えられて、造賀で健在です。

## 絵を描いて出くわすこと

大田内科・神経内科クリニック院長 大田 典也 昭和32年卒



仕事に追われて生きてきたが、10年前から賀茂高校時代に多少は興味があった絵を始めた。

医師という仕事の上で正確な描写が求められた。顕微鏡所見やレントゲン所見などである。現在はコンピューターを駆使して正確な描写が可能だが、昔はみな手描きであった。

絵を描くのも体力が必要だ。平山郁夫画伯の「絵の描き方」の本を読むと、画伯が毎日体を鍛えて



吉川高嘉により1673年竣工。中国杭州に架けられているアーチ型の橋をヒント（西湖志）

作品に臨んだことが分かる。確かに、力がないと色鉛筆を紙に強く押し付けることができない。力強い絵にならない。そして、何時間も費やすような大きな絵には挑戦できない。今や大きな作品を描かないことにしている。しかしながら、本物の絵描き（プロ）は、見えないものを絵にしている。浦島太郎、白雪姫、などおとぎ話を絵にしたり、アニメ作品を作ったりする。鉄腕アトム、ポケットモンスターなど描く。これらはこの世に存在しないものである。私にはこのような芸当はできない。見える物をスケッチしている。最近描いたものを一つご覧になれる。岩国を訪れた時に写真を撮って、描いたものだが、これも実際は非常に緊張する作業であった。橋は意外と難しい。湾曲度の問題である。

# 恩師は今…

## 向井茂先生を訪ねて

昭和29年卒 鳴尾 善彦  
昭和40年卒 木本 厚

秋の日の午後、黒瀬町のご自宅に国語の向井茂先生を訪ねた。

賀茂高校での勤務は二回で、最初は昭和二十五年十一月に西条高校に赴任、昭和四十年三月まで勤務された。

一般教養を担当する西校舎（賀茂女）で教鞭をとられた。昭和二十八年四月に賀茂高校と西条農業高校に分離されたが、先生は賀茂高校に残られた。

県立とはいえ金のない中で期成同盟会を作りカネ集めに奔走された広安校長をはじめ先生みんなで草創期の賀茂を創り上げたことを懐かしそうに話された。校歌は校長が福山出身であることから葛原しげる様にお願ひされたこと、葵の校章は下賀茂神社との調整のこと、また運動場の整備には苦勞されたこと、特に多田君が献身的に施設の整備をしてくれたよなと述べられた。

一方、学校運営については進学校を目指そう、最初の三年間で広島大学に入学させようと、毎朝一時間の補習授業を手弁当でやった。また、習熟度別学級編成もやった。とにかく、がむしゃらにやった。



写真中央が向井先生

向井先生の授業について話が及ぶと、生徒に感動や刺激を与え才能発掘につながる授業や夏休みの自由課題、社会状況や自分の読書を踏まえた脱線授業、一人一分間スピーチで鍛えたことなど楽しそうであった。

二度目は、昭和五十四年四月から一年間教頭として勤務された。思い出すのは野球同好会の部への昇格でした。グラウンドが狭いなど条件が悪い中でクラブ員が熱心に働きかけ二十五対二十四の一票差で昇格が決まった。その後、良い指導者のもとで結果を出した。

あつという間の二時間であった。賀茂高校の基礎づくりに係った自負と生涯教育者を漂わせる先生は、声もはつ

きりされており熱血先生ぶりを彷彿させる八八歳であった。（木本記）

## 善人幸雄先生を訪ねて

昭和36年卒 福村 明士  
昭和36年卒 黒川 浩明



— 国語が担当で賀茂高校に昭和三十五年から五十年まで、三十歳くらいの時から十五年間勤務された —

十月の初旬、西条町寺家にある善人幸雄先生のご自宅を訪問した。八十二歳だそうであるが大変にお元気そうで、昔と同じ柔和な口調で、長時間にわたり、熱心にお話しいただいた。ご自宅の敷地内は、ご趣味の山野草がいっぱい茂り、その種類は一、〇〇〇を超えるであろうとのことである。私も古文を教えていたのだが、国語は自然が相手の学問であり、そのために山歩き、野外活動、山野草、そして広く世の中の雑学に興味を持つ

てきたとのことである。

賀茂高校の思い出をお聞きした。若い先生が多く、前向きで進取的、協力的だった。生徒とよく遊び、野外キャンプにも行ったし、ロングホームルームをつくったのも早く、合唱発表会を開催したりもした。

また賀茂高校（賀茂高等女学校）で学び、芥川賞を受賞した大庭みな子氏について、「大庭みな子論」をまとめたこと、また大庭氏の「地獄の配膳」を授業に取り入れた思い出も話された。各先生には一学期の間だけ名札をつけてもらったこと、「生徒指導」ではなくどんな生徒になってもらいたいかを示す「生活指導」に力を入れたことなど、生徒から教えられ、また生徒の力を少しでも伸ばそうという取組に積極的で、他校からの先生の視察も多かったそうである。

教職は、河内高校の校長を五年間勤め定年までに二年を残して退職し、その後は自分がやりたいと定めていた、山野草の会や自然研究会の仕事に携わった。教職を離れても、卒業生たちとの交流があり教師をして良かったとのことである。

最後に、先生の家の敷地の隅で、道路に向かつてすすきの蔭で咲いていたナンバンギセルについて、この花はすすきに寄生していること、別名を思い草ということとあわせ、万葉集にうたわれている「道の辺の尾花が下の思い草今さらさら何をか思はむ」の歌についてお聞きしながら、いつまでも元気でいてくださいとお伝えしお別れをした。



# 活躍する 同窓生たち

## 農民の子として—莫言とぼく

佛教大学名誉教授

昭和29年卒 吉田 富夫  
(旧姓 山田)

ぼくは農民の子だ。  
ぼくには早くからその意識が  
よくて、中学生の頃、岩波文庫版  
の長塚節『土』を何度繰り返し読  
んだことだろう。

大学に入って、専攻をあまり人  
のやりたがらぬ中国文学にきめた  
のも、司馬遷や李白や杜甫などへ  
の関心からというより、その国で  
毛沢東による農民革命が成功して  
いたという事実への興味からだっ  
た。

だが、新中国の文学からは、予  
想に反して、農民の声は聞こえて  
こなかった。たしかに農民はさま  
ざまに描かれた。しかし、それら  
はしばしば『革命』の道理を宣伝  
するためのたんなる道具であつた  
り、よくてもせいぜいが知的な作  
家によつて観察された存在であつ  
て、生きた農民そのものではな  
かった。

そんな中で、八十年代に莫言の  
小説が現れて、ぼくは仰天した。  
そこにはたしかに中国の農民がい  
た。農民の魂の叫びがそこから聞



ノーベル賞授賞祝賀カクテルパーティーで  
左側が莫言夫妻 右側が吉田夫妻

こえた。これを訳せるのは、日本  
の農民の子であるぼくしかないな  
い、そう思い定めもした。  
代表作である『豊乳肥腎』の版  
権のことで莫言に始めて会つたの  
は一九九七年三月中旬、北京の小  
さなホテルだった。農民はお世辞  
は言わない。ぼくらの交わした言  
葉はすくなくかつたが、ちょうど  
二十歳ちがう二人は、互いに農民  
としてすぐわかり合えた。そのと  
きから十年を超える歳月を、ぼく  
は、そのほとんどが長篇である莫  
言の小説を訳しつつづけて、気がつ  
くとその厚みはゆうに三十センチ  
を越えていた。

そんな莫言にノーベル文学賞が  
与えられようとは、まったく予想  
しなかったと言えはウソになる  
が、大袈裟に言えば、『天』はや  
はり見ていてくれたという感慨に  
打たれた。夫婦で招待されてス  
トックホルムの授賞式に出て、莫  
言の受賞記念講演を聞きながら、  
ぼくの胸にあらためて『農民』の  
二字がつよく意識された。

## 吉田富夫君の高校時代

吉田君は福富町の出身で、あの  
造賀の坂道を自転車に通学した。  
一年時、国語の夏休みの自由課題  
で、日本の近代文学の作家達をと  
り上げ、何十冊も読破して評論文  
をまとめた。生徒新聞や文芸部の  
『大塔』に小説を発表するなど文  
才を発揮した。生徒総会での説得  
力ある発言も印象深い。活力あふ  
れる人柄は今も変わらない。

近況を付け加えると、京都市在  
住で佛教大学名誉教授。十月十三  
日の朝日新聞に、「莫言神髓」の  
著者として大きくとり上げられ  
た。莫言の神髓は「民百姓の目で  
絶対の弱者を描いています。どん  
な価値観にもしがみつくとはな  
い。中国共産党の共の字も信じて  
はいません。」と吉田君はすばり  
指摘しています。この書物には莫  
言のノーベル賞受賞講演など五つ  
の講演が収められているが、いず  
れも温かく、ユニークで面白い。  
同級生 鳴尾 善彦記(昭29卒)

## プロ野球界で—

一般社団法人  
日本野球機構 公式記録員

平成19年卒 貞比良 広



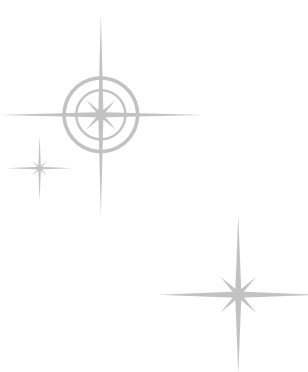
賀茂高校時代は朝早くに家を  
出て、夜はボールが見えなくな  
るまで常に野球をするという野  
球中心の生活をしていました。  
昼間の学校生活では仲の良いク  
ラスメイト達と楽しく過ごし、  
毎日が充実していたなと思ひ返  
ります。卒業後大学は沖繩へと  
行き、日本ハムのキャンプの手  
伝いをし、選手やスタッフの人  
たちと関わる中でプロ野球に携  
わる仕事がしたいと思うようにな  
りました。大学を卒業すると、  
マツダスタジアムでのボール  
ボーイをしながら、多くの偶然  
が重なり今の仕事に就くことに  
なりました。

現在は、一軍二軍含めたプロ  
野球の試合のある全国の球場へ  
行き、公式スコアを書きながら、  
ヒット・エラーのジャッジを行  
う公式記録員をしています。自  
分自身の判断で選手のヒットや  
エラー、防壁率などが決まるた

めとても重要な仕事をしてい  
ると日々感じています。

そのような中で、今年度最も  
印象に残る試合がありました。  
七月十三日、この日は記録員と  
なりひとつの目標が達成できた  
日でもあります。それは高校時  
代のひとつ先輩でもあるオリッ  
クス海田投手の先発した試合の  
公式記録を行うというものでし  
た。高校時代には毎日のように  
一緒に練習をしていたのが、今  
は内容が違うにしても同じ「プ  
ロ野球」という世界で仕事がで  
きていることがとてもうれしく、  
また少し不思議な感じもしまし  
た。この試合で、海田投手のプ  
ロとしてプレーをする姿を近く  
で見ながら仕事をしていると、  
自分自身もこの仕事を極めてい  
かなければいけないと感じる  
ことができました。

これからはオールスター、日  
本シリーズとより大きな舞台で  
仕事ができるよう成長してい  
きたいと思っています。



### 同期会・クラス会・支部会だより

……同窓会ホームページから……

詳しくは同ホームページをご覧ください。



#### ○昭和46年卒業 還暦記念同期会

期日 平成25年1月13日  
会場 グランラッセレ東広島  
参加 66人



#### ○昭和38年卒業50周年同期会

期日 平成25年3月1日  
場所 本庄  
参加 恩師5名、同期生35名 計40名



#### ○昭和41年卒業クラス会

期日 平成25年5月19日  
場所 カジュアルレストUSA  
参加 20名

#### ○賀茂高等女学校(昭和17年卒)米寿クラス会

期日 平成25年1月28日  
場所 白竜湖  
参加 9人



中国新聞社提供・平成25年1月29日付



#### ○昭和29年卒業(生活科)クラス会

期日 平成25年3月7日  
場所 白竜湖  
参加 20名



#### ○第1回関東支部会

期日 平成25年2月11日  
場所 東京銀座広島ブランドショップ「TAU」  
参加 21人

##### 第2回関東支部会のお知らせ

平成26年2月11日 13時～  
場 所：東京銀座広島ブランドショップ「TAU」  
連絡先：藤瀬活子(S39卒) 電話：03-3306-6232



○賀茂高等女学校同窓会

期日 平成25年10月21日  
場所 ホテルグランビア広島  
参加 23人



○昭和37年卒業 古希同期会

期日 平成25年10月15日  
会場 西条HAKUWAホテル  
参加 83人



○昭和40年卒関東在住者同期会

期日 平成25年11月16日  
場所 東京銀座広島ブランドショップ「TAU」  
参加 11人

同期会・支部会等の 支援金について

賀茂高校同窓生の同期会や支部会等を開催する時は、事務局から支援金として1万円を交付します。これから同期会・支部会・同窓生職場会等予定されている場合は事務局にお問い合わせください。



韓国ミチュホル外国語高等学校との交流が始まりました



初日 ミチュホル高校食堂にて一緒にランチタイム

本校は、平成25年7月30日から2泊3日の行程で、文化・スポーツ交流を目的に、韓国の姉妹提携校であるミチュホル外国語高等学校を訪問しました。ミチュホル高校は、古都仁川市に平成22年に開校した、現在約600名の生徒が学ぶ公立外国語高等学校です。英語を第1専攻語とし、日本語など4カ国語を第2専攻語として教えています。全寮制の学校で、施設や設備は大学並みに充実しています。本校は、平成25年3月15日に、姉妹校提携を結びました。その後、インターネットを活用したテレビ会議等の交流を行っていましたが、夏休みを利用して、サッカー部の生徒24名が訪韓し、大歓迎で迎えられました。

初日は、歓迎式からスタートです。ミチュホル高校のオ・



初日 歓迎会にて「世界に一つだけの花」を手話付きで、披露するミチュホル高校生



2日目 ミチュホル高校とのサッカー親善試合を終えて

へソン校長先生は、全編を日本語で挨拶され、驚かされました。生徒たちは、その後、竹とんぼや羽子板など、日韓の遊びを相互体験、歌とゲームで一気に打ち解けました。日本語学科の生徒が、自分たちで交流内容を企画・運営・演出していました。とても活発で、反応のストレートな生徒たちでした。意思疎通は英語が主ですが、生徒たちは、身振り手振りと気持ちで十分乗り切っていました。その夜は、それぞれがホームステイ先で、一晩お世話になりました。大量の家庭料理でもてなしてもらいました。各家庭には、キムチ専用の保管庫があったそうです。

2日目は、サッカー交流戦。結果は、賀茂高0-0ミチュホル高、賀茂高4-3仁川南高でした。スポーツは、音楽と同様、言語を超えて人々の気持ちを繋ぎます。最終日は、ソウル市内を観光しました。街の雰囲気は、ハンガルの看板を除けば、東京とよく似ています。南大門市場、明洞等を散策しました。観光地では、日本語が十分通用します。

今回の訪問で、学校間の国際交流を、より深めることができました。参加した生徒一人ひとりにとっても、思い出深い研修となりました。他国に、個人レベルでの知り合いができる意義は大きいと考えます。本校は、ユネスコスクール登録校にもなり、今年を国際交流元年と位置づけ、これか



最終日  
ソウル市内観光 南大門を背景に

らの活動を構想しています。

この度は、サッカー交流というコンセプトでしたが、今後いろいろなテーマを設定しながら、提携校との交流を継続し、本校生徒の国際感覚を磨いていきたいと思えます。

今回の韓国訪問にあたっては、同窓会からも後押しをいただきました。紙面を借りて、厚く御礼申し上げます。

**〈卓球部〉**  
大会名 平成25年度全国高等学校総体体育大会  
出場者 西廣 香奈(3年)  
日時 平成25年7月28日(日)  
 8月2日(金)  
場所 北九州市総合体育館  
試合結果 3回戦進出  
感想 大会会場の雰囲気には



刺激を受けました。より一層作品製作に対する意欲が沸き、よい経験になりました。

**〈美術部〉**  
大会名 全国高等学校総合文化祭  
長崎おかげ絵文祭二〇一三  
表彰 全国高等学校文化連盟賞受賞  
出場者 本岡 莉穂(3年)  
日時 平成25年7月31日(水)  
 8月4日(日)  
場所 長崎県美術館  
感想 他県の人を書いてくれた感想を見たり、交流したりしたことでのよい刺激を受けました。より一層作品製作に対する意欲が沸き、よい経験になりました。

**〈男子ソフトテニス部〉**  
大会名 平成25年度全国高等学校総体体育大会  
ソフトテニス競技平成25年度全日本高等学校ソフトテニス選手権大会  
出場者 梶原 駿(3年)  
市川祐太郎(3年)  
日時 平成25年8月1日(木)  
 4日(日)  
場所 大分スポーツ公園だいぎんテニスコート  
試合結果 1回戦  
賀茂④×1長野県立上田千曲高校  
2回戦  
感想 賀茂0×4群馬県立前橋商業高校  
ずっと目標にできてきた  
全国大会に出場することができて本当に良かったし、いい経験をさせてもらったと思います。結果は少し残念



倒され少し緊張しましたが、試合では自分らしいプレーがしっかりできました。とてもいい経験になりました。



**〈アーチエリート部〉**  
大会名 全国高等学校総合体育大会  
アーチエリート選手権大会  
出場者 六川たから(2年)  
大矢 遥(2年)  
勝谷 夏葵(2年)  
日時 平成25年8月4日(日)  
 6日(火)  
場所 佐賀県武雄市白岩運動公園  
団体戦 32位  
個人決勝出場 47位(1名)  
感想 3人とも初めての全国で緊張していましたが、結果は全員納得のいくものではありませんでしたが、来年の8月にまた出場し、満足のいく結果に近づきたいです。



でしたが、見に来てくださった人たちの応援の中で楽しくプレーできました。

# 賀茂高校の近況報告

クラブ活動を訪ねて



## ■ 昨年の進路実績 (平成24年度)

国立大学	現役	私立大学(広島県内)	現役	嘉悦大学	1	専門学校(広島県内)	現役
京都大学	1	広島修道大学	63	明海大学	2	呉共済病院看護専門学校	3
大阪大学	1	広島国際大学	82	京都外国語大学	2	呉医療センター附属呉看護学校	4
神戸大学	1	安田女子大学	51	京都女子大学	1	広島製菓専門学校	1
筑波大学	1	近畿大学(工学部)	41	京都造形芸術大学	3	広島デンタルアカデミー専門学校	2
東京学芸大学	1	広島女学院大学	27	近畿大学	5	広島アニマルケア専門学校	1
静岡大学	1	広島工業大学	33	大阪芸術大学	1	ヒューマンアカデミー広島校	1
広島大学	4	広島経済大学	17	京都産業大学	1	広島理容美容専門学校	1
愛媛大学	16	広島文化学園大学	14	佛教大学	2	広島美容専門学校	1
香川大学	1	広島文教女子大学	17	吉備国際大学	1	広島情報専門学校	2
山口大学	4	比治山大学	15	岡山学院大学	1	国立県営広島障害者職業能力開発校	1
佐賀大学	1	福山大学	7	岡山理科大学	2	広島市立看護専門学校	1
大阪教育大学	1	福山平成大学	5	倉敷芸術科学大学	1	広島県立三次看護専門学校	1
徳島大学	1	日本赤十字広島看護大学	3	山陽学園大学	1	広島高等歯科衛生士専門学校	3
鳥取大学	2	エリザベト音楽大学	1	四国大学	2	広島医療秘書こども専門学校	1
和歌山大学	1	合計	376	松山大学	2	合計	23
島根大学	5			神戸女子大学	1		
合計	42			合計	64		
		私立大学(広島県外)	現役	短期大学	現役	専門学校(広島県外)	現役
		立命館大学	6	島根県立大学短期大学部	1	北海道芸術デザイン専門学校	1
		龍谷大学	1	新見公立短期大学	2	岡山医療センター付属岡山看護助産学校	1
		駒澤大学	1	安田女子短期大学	10	鳥取県立倉吉看護専門学校	1
		国士舘大学	3	比治山大学短期大学部	10	中央工学校	1
		福岡大学	3	広島文化学園大学短期大学部	1	大阪デザイン専門学校	1
		川崎医療福祉大学	1	川崎医療短期大学	1	シグマセブン声優養成所	1
		東京工芸大学	2	鈴峯女子短期大学	1	玉野総合医療専門学校	1
		目白大学	1	関西外国語大学短期大学部	2	ホスピタリティーツーリズム専門学校	2
		関西外国語大学	3	青山学院女子短期大学	1	合計	9
		帝京大学	1	武庫川女子短期大学	2		
		関西大学	3	美作大学短期大学部	1	就職	現役
		環太平洋大学	3	広島国際学院大学自動車短期大学部	1	ジーンズカジュアルダン	1
		創価大学	2	創価女子短期大学	1	西条中央病院(医療事務)	1
		関西学院大学	1	合計	34	株式会社マルサン	1
		東洋大学	1			公務員(消防)	1
		実践女子大学	2			自衛官一般曹候補生(陸士)	2
		金沢工業大学	1			合計	6



**同窓会事務局より**  
**第60回総会・懇親会の報告**  
 平成25年8月4日(日) 11時より第60回同窓会総会・懇親会が121名の出席のもと、盛大に行われました。  
 今年度の当番幹事は、昭和39年・49年・59年・平成4年・14年卒でした。今回は県外からの参加も多く見られました。懇親会では、ビンゴゲームや会話を楽しみ、校歌を歌って昔を懐かしみました。  
 来年度は平成26年8月3日(日)に当番幹事、昭和40年・50年・60年・平成5年・15年卒中心に開催する予定です。当番回期以外の方の参加も大歓迎です。次回に参加をお待ちしております。



**編集後記**  
 西条実科高等女学校の写真は、我が母校が創設された頃の姿で、明治44年から大正12年まで続いた。同女学校への入学生として同窓会名簿には648人の方が掲載されている。あらためて我が母校の永い歴史を思い、しばし感慨に浸る。そしてそれから90数年の時が流れ、平成25年、賀茂高校は、国際化元年として新しいスタート台に立った。心から祝福したい。しかし、一方で、日本から海外への留学生は、ここ10年あまり減少し、若者の今のままで満足と言う「内向き指向」も指摘されている。グローバル化の中でどう生きるのか、これからの取組に大いに期待したいと思う。この会誌もようやく5号を発行できた。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

